

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	工業英語 I	
科目基礎情報							
科目番号		44030		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		物質工学科		対象学年		4	
開設期		4th-Q		週時間数		2	
教科書/教材		「Judy先生の耳から学ぶ科学英語」 (野口ジュディー 著, 講談社サイエンティフィク) 自作プリント					
担当教員		廣原 志保					
到達目標							
①辞書を使用しなくても内容を把握できる。 ②英文の構成を理解できる。 ③重要な英文法を理解できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安		
評価項目1		科学英単語を含む英単語が 書ける	科学英単語を含む英単語が 3/4書ける	科学英単語を含む英単語が 3/5書ける	科学英単語を含む英単語が 書けない		
評価項目2		英文の構成が理解できる	英文の構成が3/4理解でき る	英文の構成が3/5理解でき る	英文の構成が理解できない		
評価項目3		英文法が理解できる	英文法が3/4理解できる	英文法が3/5理解できる	英文法が理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	科学技術の発展が急速化している今、エンジニアは英文を読み込み、素早く情報を手に入れる必要がある。本講義では、英文を集中的に読み、内容把握のコツを教授し、迅速かつ正確に内容を理解できる能力を養う。また、日本人が誤りやすい表現と用語の発音についても授業で取り上げ、コミュニケーション能力の向上も目的とする。						
授業の進め方・方法	予習および復習をすること。 辞書なしで大意を把握できるような読解力を身につけるように、積極的に科学・工学に関わる単語を多く覚えること。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートを実施します。						
注意点	予習および復習をすること。 復習の確認として、小テストを行う。また課題も毎回課す。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	4thQ	9週	ガイダンス 整数の表現 (L1)、寸法の表現 (L2)、 元素名の表現 (L16)		整数・寸法・元素名の表現を理解することができる。		
		10週	分数、少数の表現 (L3)、数式の表現 (L4)、 無機化合物の表現 (L17)		分数、小数・数式・無機化合物の表現を理解できる。		
		11週	日常的な数の表現 (L5)、数詞の表現 (L6)、有機化 合物の表現 (L18)		数詞・序数・有機化合物の表現を理解できる。		
		12週	序数の表現 (L7)、 実験器具の表現1 (L11)		日常的な数・数詞・有機化合物の表現を理解できる。		
		13週	実験器具の表現2 (L11)		実験器具の表現を理解することができる。		
		14週	図表の表現 (L12)		図表の表現を理解することができる。		
		15週	色の表現 (L19)、形の表現 (L20)		色・形の表現を理解することができる。		
		16週	定期試験・試験返却		試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用の 基礎となる 知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	4		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	4		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		

				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	レポート	小テスト	合計
総合評価割合	60	15	25	100
基礎的能力	30	5	10	45
専門的能力	30	5	15	50
態度・志向性	0	5	0	5